

緑と彫刻のある町



つなぎ

Public Relation 2006 4

発行 ■ 熊本県津奈木町役場
編集 ■ 総務課

TEL 099-666-9728
熊本県葦北郡津奈木町大字小旭印刷株式会社

2006
Vol.483
4



今見頃です。桜の淡いピンクとすいせんの黄色とともにすてきなコントラストをだしています。

4月の行事

- 3日(月) 津南保育園入園式
- 5日(水) 津奈木保育園入園式
- 8日(土) つなぎ朝市(つなぎ温泉四季彩駐車場)
- 10日(月) 各小学校入学式
- 11日(火) 津奈木中学校入学式
- 12日(水) 津奈木幼稚園入園式
- 16日(日) 消防点検(総合グラウンド)

21世紀はお任せ! 赤ちゃんこんにちは!!

やまざき りお 山崎 梨央ちゃん (丸岡地区)
平成17年7月8日生まれ

さとう けいすけ 佐藤 敬典くん (町中地区)
平成16年7月20日生まれ

パパから一言
お姉ちゃん達が大好きな梨央ちゃん。これからも仲良くしてね。

ママから一言
元気いっぱいの元気いっぱいのいちゃん。たくさん遊んで大きくなつてね。

パパ 明登さん ママ 結美さん

つなぎ美術館所蔵品展

熊本の現代作家

絵画を中心とした作品を展示。坂本善

三、浜田知明など20数点を展示。

期間 公開中~7月30日(日)

観覧料 一般 300円

高大生 200円

小中生 100円

展示場所 つなぎ美術館1階



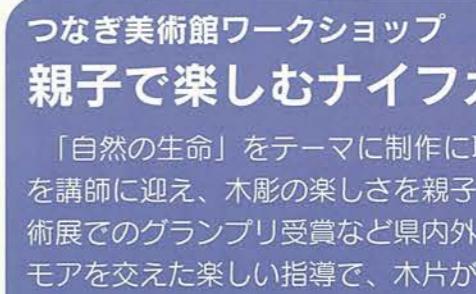
遠雷 (1982年 宮崎静夫)



退屈な時間
(1998年 浜田知明)



期間 公開中~4月25日(火)
観覧料 無料
展示場所 つなぎ美術館3階



つなぎ美術館ワークショップ 親子で楽しむナイフカービング

「自然の生命」をテーマに制作に取り組む和水町在住の彫刻家上妻利弘を講師に迎え、木彫の楽しさを親子で味わうワークショップ。熊日総合美術展でのグランプリ受賞など県内外で高い評価を得ている上妻利弘のユーモアを交えた楽しい指導で、木片がみるみるうちに芸術作品に仕上がります。

日時 5月5日(金・祝) 13:30~

参加料 1人800円

定員 親子5組(1組3人まで)

講師 上妻利弘(彫刻家)

問い合わせ先

つなぎ美術館 ☎ 61-2222

町を歩こう

なんでこんな天気だろう。

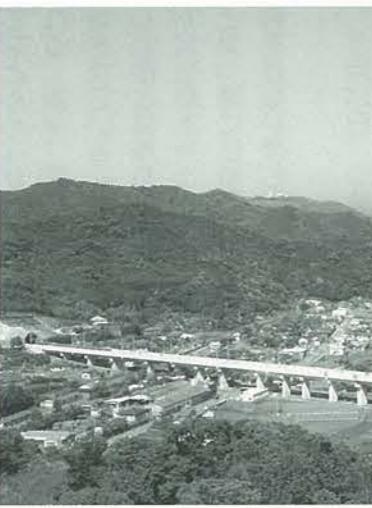
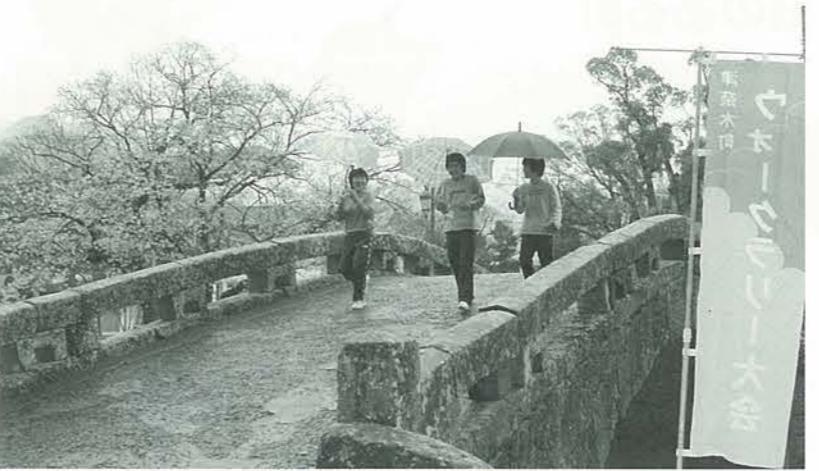
早朝から雷、昼過ぎまで小雨、3月26日、このような天気のなか桜祭りウオークライ一大会が開催されました。今年は桜の開花も早くちょうど見頃の日曜日だつただけに残念。しかし、参加した町内外約50人のみなさんは、傘をさし雨、ガツパを着ながら新緑の

津奈木町の風景を楽しみました。散歩にはとてもいい季節です。本大会のコースを紹介しますのでみなさんも歩いてみませんか。

「けた石工は誰でしょ？」「橋のたもとにある石碑をよく見てください。大ヒントが隠されています。

ぶきが若い芽を出しています。あまり知られていませんが、ここにもきれいな桜が咲いています。縁の少年団と老人会が昨年モミジやヤマザクラなどア本の苗を植えました。まだまだ小さいですが、きっと立派な花を咲かせるでしょう。楽しみです。おつと急に「トト」

やこと展望台へ到着です
平成13年に設置された牧歌が
迎えてくれました。この牧歌
は、作者岩野勇三さんがガン
宣告を受けて制作した、人生
最後の作品となりました。岩
野勇三さんは、本
町の彫刻15体中8
体の作品を制作し
ています。中学校
へ向うために木製
の遊歩道を渡りま
しょう。平成13年
に完成した木製の
遊歩道は、自然に



すてきな風景が眼下に広
がる。

もつとも足場の悪いところは
はい。岩場の遊歩道です。
もっともスリリングな場所か
もしれませんね。しかし、こ
こから見える町全体を見下ろ
す風景は素敵なのです。タ
イミングが良いとたせ船や
新幹線も見ることができま
す。ここから降りると中学校
です。そのまま、町中、新川

と進んでいきましょう。

距離的には3分のところ
じひれでしょへか。ウォーカー
ラリー大会当日は、町の活性
化委員が問題をだしました。

くつとした脚題をお通りへござる。

「それでは問題です。このあ
けばの橋は、橋の上の彫刻が
話題を呼び、新聞、
テレビなどで取り上
げられ、建設省
(現・国土交通省)
の「第1回〇〇〇賞」
を受賞しました。こ
の賞の名称は?」橋
をよく見たらわか

疲れましたか。以上が桜祭りウォークラリー大会のコースです。約2時間あまりで回れます。今年は阿蘇から参加の「(ご)とうさんチーム」が一位でした。写真は、2位、3位、最速賞を獲得した津奈木小バレーボールチームです。若いだけに元気がいい。

氣をつけてください
ね。この橋を渡り右
折をすると千拓千本
桜です。

A black and white photograph showing two individuals, a man and a woman, standing in front of a glass display case. Inside the case is a small, dark rectangular object, possibly a book or a piece of equipment. The man is pointing towards the display, and both appear to be examining it closely.

刻の名称
は?」現
在、つな
ぎ美術館
では、所
蔵品展が
開催され
ています。ゆつ

最後に三行飴てて

千拓からつなぎ美術館へリターンです。ここでは、ウォーキングフリー大会当日、学芸員が問題をだしました。「つなぎ美術館2階喫茶室入り口前」に展示してある彫刻の名称は?」現在、つなぎ美術館では、所蔵品展が開催されています。

A black and white photograph showing a group of approximately fifteen people, including several young children, gathered outside a building. They are holding various items, likely donations, including boxes and bags. The group is posed in two rows, with some people standing in the back and others sitting or kneeling in the front. The setting appears to be a residential area with a checkered floor and a doorway visible in the background.

